

# エコアクション21 環境活動レポート

2013 年度

2012 年 11 月～2013 年 10 月

*限りある資源を未来に 地球環境に貢献*



**株式会社コーセイジャパン**

E-MAIL: [kosei-japan@mvc.biglobe.ne.jp](mailto:kosei-japan@mvc.biglobe.ne.jp)

URL: <http://kosei-jp.cdx.jp>

2014 年 1 月 8 日 作成

# 環境方針

## 基本方針

株式会社コーセイジャパンは、電気工事業ならびに省電力商品の販売を通じて環境負荷の軽減に取り組み、低炭素社会の実現に貢献できるよう努力してまいります。

## 行動指針

- (1) 照明分野における省エネ知識を生かし、顧客への照明省エネ診断を積極的に行う。
- (2) 省電力商品（LED照明、高効率照明用安定器）の販売促進により環境負荷軽減に取り組む。
- (3) 環境負荷軽減商品（LED照明など）の企画・設計を積極的に行う。
- (4) 社内におけるゴミの分別の徹底、エネルギー使用量（電気・ガス・水道・ガソリン等）の抑制を行う。
- (5) 事務用品・工事材料等のグリーン購入を積極的に行う。
- (6) 環境関連法規等を遵守します。

2013年2月15日（改定）

株式会社コーセイジャパン

代表取締役 安陵範浩

## 1. 事業の概要

事業所名 株式会社コーセイジャパン

代表者名 安陵 範浩

所在地 本社 福岡県京都郡苅田町磯浜町1丁目16-9

環境管理責任者 安陵 範浩

連絡担当者名 安陵 範浩

連絡先 TEL : 093-436-6136

FAX : 093-436-6141

E-MAIL [yasuok-n@mx.mesh.ne.jp](mailto:yasuok-n@mx.mesh.ne.jp)

事業の内容 LED照明並びに高効率電子安定器の設計、製造、販売、施工

### 事業の規模

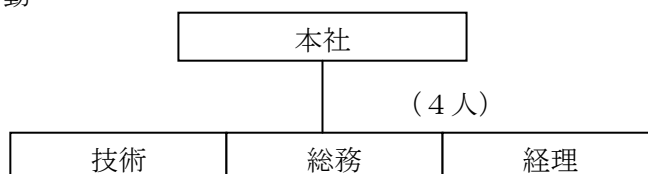
	単位	2011年度	2012年度	2013年度
環境負荷軽減商品 (LED照明など) の販売台数	台	14,052	28,373	13,466
売上高	百万円	90	183	100
従業員数	人	4	4	4~5
事業所面積	m <sup>2</sup>	80	80	80

当社の事業年度 11月1日~翌年10月31日

(今回の活動レポートの対象期間は、2012年11月1日~2013年10月30日)

## 2. 組織図及び認証・登録範囲

全組織・全活動



### 3. 2013 年度及び 2014 年度、中期環境目標

環境目標		単位	2009/11～ 2010/10 2010 年 (基準)	2012/11～ 2013/10 2013 年度目標	2013/11～ 2014/10 2014 年度目標	2014/11～ 2015/10 2015 年度目標	2015/11～ 2016/10 2016 年度目標
基準データ		従業員数	人	4	5	5	5
1	二酸化炭素排出量の削減	Kg-co2/ 人	3558	3309 (7%)	3202 (10%)	3131 (12%)	3100 (13%)
2-1	一般廃棄物総排出量の削減	Kg/ 人	—	67.1 (5%)	65.7 (7%)	64.29 (9%)	63.58 (10%)
2-2	建設副資材のリサイクル率の向上	%	—	74% (-5%)	75.5% (-7%)	76.5% (-9%)	77.5% (-10%)
3	総排水量 (給水量)	m <sup>3</sup> / 人	19.75	18.0 (9%)	17.5 (11%)	17.2 (13%)	17 (14%)
4	グリーン購入の推進	品目		2 品目	3 品目	4 品目	5 品目
5	環境負荷軽減商品の販売	高効率電子安定器	台	16418	12000	8000	8000
		LED照明	台	90	10000	12000	14000

※電気の二酸化炭素係数は九電の 21 年度 0.369 を用いた。

※環境負荷軽減商品の販売で高効率電子安定器は、LED 商品の販売増加に伴い減少傾向にあるため、下方修正した。

### 4. 2013 年度の環境活動計画

#### 4-1. 二酸化炭素総排出量の 7%削減

取組目標		活動項目		実施 状況
1	電力使用量の 7%削減	1	待機電力削減 (OA 機器、測定器類、家電品等)	○
		2	全照明器具にブルスイッチを設け、こまめに消灯する	○
		3	クールビズ、ウォームビズ実施で空調電力の低減	○
2	ガソリン使用量の 7%削減	1	エコドライブおよび公共交通機関の利用促進	○
		2	営業車にハイブリッドカーを購入	○
		3	納品及び工事車両に軽貨物車を導入	○
3	プロパンガス使用量の 7%低減	1	給湯器等の効率使用 (ポットの活用)	○

4-2. 廃棄物排出量の削減（5%）

取組目標		活動項目		実施 状況
1	廃棄物排出量の削減	1	梱包材のリサイクル化向上	○
		2	再生紙および裏紙の使用	○
2	建設副資材リサイクル率の向上	1	分別の徹底、産業廃棄物のリサイクル促進	○

4-3. 総排水量の削減（9%）

取組目標		活動項目		実施 状況
1	節水活動	1	節水活動の促進	○
		2	雨水貯水槽の製作	—

4-4. グリーン購入の促進

取組目標		活動項目		実施 状況
1	グリーン購入の向上	1	再生紙の使用促進（コピー用紙、封筒）	○
		2	清掃用洗剤をエコ洗剤使用	○
		3	名刺の再生紙使用	—

4-5. 環境負荷軽減商品の販売促進

取組目標		活動項目		実施 状況
1	LED照明の販売台数向上	1	省エネ診断の実施	○
		2	展示会の積極的な出展や顧客訪問回数を増やす	○
		3	新製品の企画・設計（LED照明新機種開発）	○

## 5. 目標の実績

・2013年度の目標における実績は以下の通りであった。

環境目標		単位	2009/11～ 2010/10 2010年（基準）	2012/11～ 2013/10 2013年度目標	2012/11～ 2013/10 2013年度実績	目標の 達成	
基準データ		従業員数	人	4	4	4.25	
1	二酸化炭素排出量の削減	Kg-co2/ 人	3558	3309 (-7%)	2132 (-39%)	○	
	電気の使用量削減	Kwh/人	1580	1470 (-7%)	1334 (-15%)	○	
	ガソリンの使用量削減	ℓ/人	1268	1179 (-7%)	679 (-45%)	○	
	灯油の使用量	ℓ/人	—	—	16	—	
	ガスの使用量削減	Kg/人	10.82	10.10 (-7%)	7.7 (-27%)	○	
2-1	一般廃棄物の排出量削減	Kg/ 人	70.65	67.10 (-5%)	85 (21%)	×	
2-2	産業廃棄物のリサイクル率	%	70.5%	74.0% (+5%)	98% (39%)	○	
3	総排水量（給水量）	m <sup>3</sup> /人	19.75	18.00 (9%)	14.8 (17.7%)	○	
4	グリーン購入の推進	品目		封筒のリサイク ル品使用	封筒のリサイク ル品使用	○	
5	環境負荷軽減 商品の販売	高効率電子 安定器	台	16418	12000	6855	×
		LED照明	台	90	10000	7190	×

※電気の二酸化炭素係数は九電の21年度0.369を用いた。

注1：一般廃棄物総排出量は2012年の最終処分量/人のデータを基準に計画を立てる。

注2：建設副資材のリサイクル率は2012年の再資源化率（%）のデータを基準に計画を立てる。

## 6. 活動計画の取組結果

### 6-1. 二酸化炭素排出量の削減

#### (1) 電気使用量の削減

- ・削減目標を7%としたがこれを達成できた。(15%削減)

前回と同様、待機電力の削減や不要な照明の消灯、エアコンの温度設定管理により、電力消費量を抑えることができた。

#### (2) ガソリンの使用量削減

- ・削減目標を7%としたがこれを達成できた。(45%削減)

営業車のハイブリッドカー購入やエコドライブの励行効果が出て来たと思う。

(3) ガスの使用量削減

- ・削減目標を7%としたが、これを達成できた。(27%削減)  
前回と同様、湯沸し頻度を抑え、ガス使用量の抑制に取り組んだ。

6-2. 廃棄物の排出量削減、

(1) 一般廃棄物の排出量削減

- ・削減目標を5%としたが、達成できなかった。  
原因として社内倉庫の大掃除に伴い空段ボールを処分(リサイクル)したためである。

(2) 産業廃棄物のリサイクル率向上

- ・リサイクル率5%アップとしたが、これを達成できた。(39%アップ)  
環境負荷軽減商品(LED照明など)の施工販売時に発生していた廃蛍光ランプの引取りを見積段階で協議し、極力施主様での処分を実施できたので、廃ランプの処分が軽減された。

6-3. 排出水量の削減

- ・削減目標を9%としたがこれを達成できた。(17.7%削減)  
前回同様、節水への取り組みを強化したためである。

6-4. グリーン化商品の購入促進

- (1) 再生紙品購入を実施(コピー用紙、封筒など)
- (2) リサイクルトナーの購入
- (3) エコ洗剤の購入(清掃用洗剤)

6-5. 環境負荷軽減商品の販売

(1) 高効率電子安定器・LED照明の販売

販売目標を下回る結果に終わった。  
LED照明は順調であるが、電子安定器の販売減少が多い。

(2) 省エネ診断の実施

- ・顧客への照明設備の調査を実施、高効率照明(HFインバータやLED照明)への交換による省エネ効果を診断する業務を積極的に実施。

### (3) 展示会の出展

- ・展示会への自社商品（省エネ照明）の出展回数を増やし、PR活動を実施。

(2012年2月と2013年10月の2回出展)

## 7. 次年度の活動計画の内容

### 7-1. 二酸化炭素の排出量削減

ガソリン使用量の低減が大きく効果が出ており、二酸化炭素排出量が大幅に低減した。

次年度もこの調子で低減に取り組んでいく。

### 7-2. 産業廃棄物の削減

本年度は産業廃棄物の記録作成を行ったので、次年度より一般廃棄物の最終処分量を5%削減、産業廃棄物の再資源化率を5%向上するように取り組みたい。

### 7-3. グリーン購入の推進

本年度は封筒の再生紙利用を実施したが名刺については見送った。

計画にはなかったが、清掃用洗剤を天然植物から出来ている環境配慮型洗剤を購入した。

## 8. 環境関連法規等への違反、訴訟等の有無

環境関連法の遵守状況をチェックの結果、違反はありませんでした。

尚、関係当局よりの違反の指摘、利害関係者からの訴訟等も過去17年間ありません。



## 9. 代表者による全体評価の見直しの結果

### 〔評価〕

環境経営システムが有効に機能しているか	EA21 の活動から 3 年目となったが、順調に進んでいる。
環境への取組は適切に実施されているか	二酸化炭素排出量の削減がやっと達成できた。 今後は廃棄物の低減に対して努力を行っていきたい。

### 〔見直し〕

環境方針 変更の必要性	なし
環境目標 変更の必要性	環境負荷軽減商品の販売で高効率安定器の販売量が落ちてきた。 LED 照明の需要が高まり、販売数が減少に転じると考え、中期目標を下方修正する。
環境活動計画 変更の必要性	なし
環境経営システム等 変更の必要性	なし

### 〔総評〕

本年度は二酸化炭素排出量の削減で目標を達成できた。 低燃費車導入によるガソリン使用量の低減や、こまめな節電の効果が表れたと考える。 廃棄物については達成できてなかったもので、今後強化していく。
--

2014 年 1 月 6 日

株式会社コーセイジャパン

代表取締役 安陵 範浩

## 10. その他

### (1) 環境負荷軽減商品の新製品

#### 水銀灯 400W 代替え LED (80W)



- 用 途： 水銀灯代替え  
(MF400W、HF700W など)

- 製品仕様
  - ・入力電圧： 200～242V
  - ・消費電力： 80W
  - ・ビーム角度： 60°
  - ・光源光束： 9360lm (117lm/W)
  - ・照 度： 10800Lx (1m 直下)
  - ・色 温 度： 5600K
  - ・演 色 性： Ra70
  - ・定格寿命： 40000 時間

#### コンパクト蛍光灯 55W 代替え LED (20W)



- 用 途： コンパクト蛍光灯代替  
(FPL55W、FHP45W など)

- 製品仕様
  - ・入力電圧： 100～242V
  - ・消費電力： 20W (1 本)
  - ・ビーム角度： 180°
  - ・光源光束： 2000lm (1 本)
  - ・照 度： 700Lx (1m 直下)
  - ・色 温 度： 5000K
  - ・演 色 性： Ra80
  - ・定格寿命： 40000 時間

#### 直管蛍光灯 110W 代替え LED (48W)



- 用 途： 直管蛍光灯代替  
(FLR110、FHF86W など)

- 製品仕様
  - ・入力電圧： 100～242V
  - ・消費電力： 48W (1 本)
  - ・ビーム角度： 240°
  - ・光源光束： 5088lm (1 本)
  - ・照 度： 1100Lx (1m 直下)
  - ・色 温 度： 5000K
  - ・演 色 性： Ra80
  - ・定格寿命： 40000 時間

(2) 環境負荷軽減商品の施工工事 (LED 蛍光灯)

工事風景

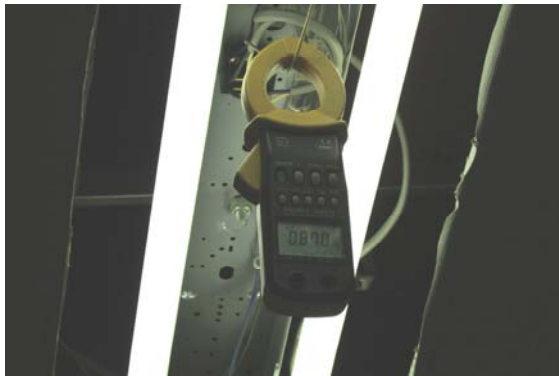


LED 取付後



工事前後の電流値測定

工事前 (0.87A) → 工事後 (0.43A) 50%低減



(2) 環境負荷軽減商品の施工工事 (LED 照明)

施工後の風景



水銀灯 400W → LED 照明 50W



(3) 環境負荷軽減商品の販売に伴う、二酸化炭素低減量

累積販売数 (台)

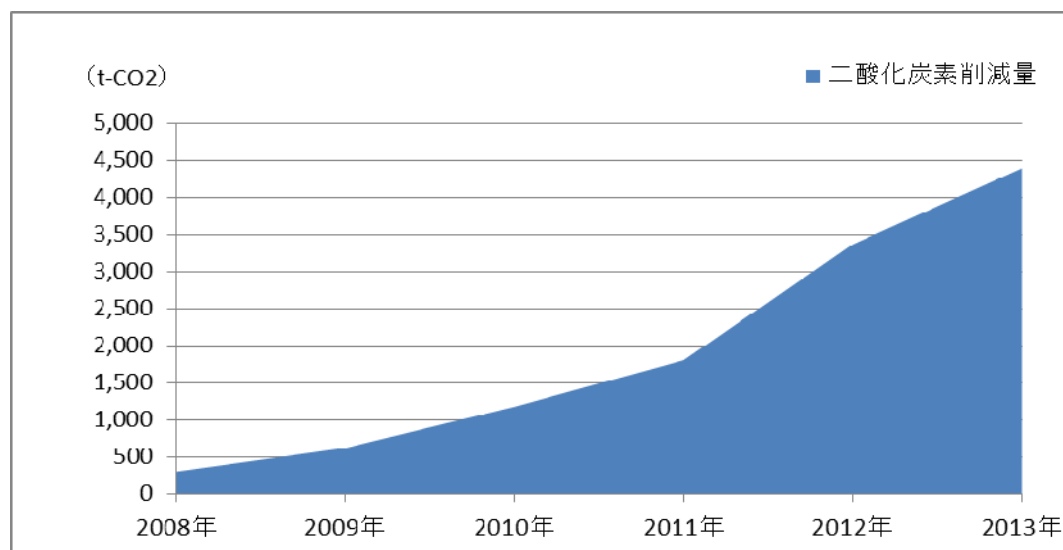
品目	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
高効率安定器	9,062	18,720	35,138	47,131	67,479	74,334
LED照明			90	2,149	10,174	17,364
合計	9,062	18,720	35,228	49,280	77,653	91,698

電力削減量 (kwh)

品目	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
高効率安定器	815,580	1,684,800	3,162,420	4,241,790	6,073,110	6,690,060
LED照明			27,000	644,700	3,052,200	5,209,200
合計	815,580	1,684,800	3,189,420	4,886,490	9,125,310	11,899,260

二酸化炭素削減量 (t-CO2)

2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
301	622	1,177	1,803	3,367	4,391



※電力削減量の計算について

- ・高効率安定器は市場で最も多い蛍光灯 40W2 灯器具を基準として 1 台当たり 30W の電力削減とした。  
 $\text{※}40\text{w}2 \text{ 灯器具 (定格消費電力 } 85\text{W)} - \text{高効率安定器 (設定消費電力 } 55\text{W)} = 30\text{W 削減}$
- ・LED 照明器具は様々なアイテムがあり、水銀灯代替品の場合は 200W の削減、蛍光灯の場合は 40W 削減  
 一般電球の場合は、50W 削減となるが、平均で 1 台当たり 100W の電力削減とした。
- ・削減電力量の年間計算は削減電力×台数×平均的な使用時間 (3000h) と仮定して計算した。
- ・二酸化炭素削減値は  $1\text{kwh}=0.000369\text{t-CO}_2$  で計算した。